



第1699回 2020年9月17日(木) <<週報>>

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12:30

1. 点 鐘
2. 合 唱 「我等の生業」
3. お客様の紹介
4. 会長の時間

- 私は秦野の住人になって約60年くらいになり、半世紀を過ぎております。ところが秦野のことは全く知らなくて、渋沢といえば岡野ビルにあった麻雀荘や諸星道治さんのところの駐車場脇にある中華料理屋、あるいは自宅の前にあるスナックくらいなものです。そして鶴巻では温泉病院、陣屋、原さんのご自宅くらいです。大根に至っては東海大学、その東海大学の中に紀伊国屋書店の支店があることくらいしか分かりません。
- 最近の話ですが、青少年奉仕委員会から“はだのっ子アワード事業”という話しを伺いました。内容がどういうものなのか委員長と一緒に市役所に説明を受けに行きました。市内の小学校3年生～中学3年生までの子供に秦野をよく知ってもらおうという企画で、それともう一つ本を読みましようということだそうです。その内容の一つですが、市内を7つの地区に分け文化財や史跡・自然についてフィールドワークを体験マップに副って行きます。
- 所謂、7つのルートを作成しそのルートを歩きながら文化財や史跡・自然がどのようになっているか勉強ができるということです。我がクラブは協賛して成績の良い子は表彰するというのですが、その表彰状を入れる額縁を秦野の木で作り一緒に渡すということです。その額縁に対しての協賛を依頼されています。
- この間、自宅から緑風橋を渡ると中学校のグラウンドになる話しをしましたがこの緑風橋という名前も古谷さんから教えてもらった次第です。今回できることなら“はだのっ子アワード事業”に参加して子供たちと一緒に歩いてみたいと思いました。
- そこで市役所前の市道をずーっと下った不二家レストラン前から水無川を遡り県立秦野戸川公園内の風の吊り橋まで橋が何本あるのか調べてみました。この道路は市道6号線という事だそうです。この市道6号線を下っていくと国道61号線とT字でぶつかるころから「新常盤橋⇒常盤橋⇒平成橋⇒まほろば大橋⇒秦野橋(大川橋)⇒桜橋⇒緑風橋⇒富士見橋⇒水無瀬橋⇒塚原橋⇒堀戸大橋⇒平和橋⇒鶯橋⇒風の吊り橋」となります。
- この“はだのっ子アワード事業”の話しを伺いながら、秦野に60年近く住んでいてもよく知らないことが多く勉強しないといけないと感じました。
- 子供たちに自分たちの故郷をよく知ってもらおうというこの事業はとても良いことだと思いました。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

- ①2020-21年度地区大会登録のご案内
- ②2022年規定審議会立法案(制定案)地区提案承認について
- ④第7回日台ロータリー親善会議福岡大会開催中止のご報告
- ⑤アンケート活動状況アンケート調査結果の情報提供について

【受付文書】

- ①第 41 回秦野市市民の日事業について（ご案内）
- ②秦野市教育委員会新旧教育長より挨拶文書
- ③第 11 回秦野市親子川柳大会の開催要項
- ④赤い羽根共同募金への協力のお願い

【例会変更】

【本日の配布物】

- ・ガバナー月信 9 月号
- ・第 1699 回例会次第
- ・第 1697 回例会週報
- ・9/3 定例理事会議事録

6. 記念日

- ・会社創業記念日
- ・入会記念日
- ・御結婚記念日
- ・御誕生記念日（会 員）
（配偶者）

7. スマイル報告

- 神崎達朗さん「9 月も半ばになり朝晩だいぶ涼しくなってきました。今年の夏は例年になく暑く身体に堪えました。皆様身体ご自愛ください。」
- 大屋富茂さん「会員の皆様、楽しい三分間スピーチを宜しくお願い致します!! 」
- 鈴木和夫さん「朝夕はめっきり秋の気配を感じるようになりました。この時期は体調を崩しやすいですから充分注意しましょう。健康で居られる事にスマイル。」
- 古谷スミ子さん「少しですが秋の気配を感ずるこの頃です。皆様の三分間スピーチを楽しみにしております。」
- 山谷洋子さん「暑い日が続きますが秋を感じる今日この頃ですねネー。」
- 桐山晃忠さん「秋風に寄せてスマイル」
- 北村まり子さん「暑さもまだまだですね。スマイルします。」
- 原郁夫さん「稲刈りが始まりました。」
- 原恵美子さん「稲刈り順調に始まりました。可愛い私の子供たちです。無事な刈り上げを願う日々です。」
- 東島礼美さん「お彼岸が来ます。スマイル致します。」
- 淵脇美代子さん「今朝は 18℃でした。秋ですね。秋から冬の野菜の苗を植えました(主人が)。楽しみにしています(収穫を)。」
- 諸星利男さん「だいぶ涼しくなりました。逆に疲れが出て何かと困っています。頑張っていきましょう。」
- 諸星道治さん「今年は秋が短いそうです。インフルエンザとコロナ心配です。気をつけましょう。」
- 矢端雅子さん「今日は“乙女座の新月” だそうです。願い事を紙に書いて是非お祈りしてみてください。」
- 酒井健一さん「毎回たくさんのスマイルありがとうございます。」

合計 43,000 円

8. 出席報告

- 会員数 16 名、○出席義務 16 名、○出席数 15 名、○出席率 93.75%

9. 地区委員会報告 特になし

10. 委員会及びその他の報告

- プログラム委員会 酒井委員長
次週 9/24 第 1700 回記念例会ということで開催致します。内容はパスト

ガバナー後藤定毅氏の卓話を予定しております。
また12時よりお食事もありますので、欠席の場合は
23日(水)までに事務局にご連絡願います。



11. 会員3分間スピーチ

【桐山晃忠さん】



○私の職業分類は“工業技術のゴム技術サービス”になりますが、「これって何だろう？」と誰でも思うと思います。今日は少し挽回する意味で説明していきたいと思います。

○私の専門職はタイヤの材料設計で、その車に最も適応する配合を見つけ出して車につけていくという地道

な仕事です。通常、タイヤの技術には構造設計・材料設計・生産管理の3本柱があります。その中の材料設計に携わってきました。材料設計はタイヤの各部位に要求する配合を開発することです。これは美味しい食事を作るときのレシピを作ることと同じことになります。

○要求するタイヤの耐摩耗性・コーナリング・耐熱性・耐屈曲性・耐候性などがありこういうものの特性を活かすというのが材料設計であります。

○このような仕事を色々な会社で経験してきました。最初は日東タイヤでタイヤや工業用品を作っている会社、次に東洋ゴムでここはタイヤを作っている会社でした。主体の所は横浜ゴムでして、ここで定年退職をしその後いろいろなタイヤ会社を回り教え込んできました。

そして名古屋の東新ゴム(3年)、インドネシアのガジャツンガル(3年)、中国の貴州タイヤ(18年)など歴任してきました。

黒い丸いものばかりで非常に地味な仕事でして、自分でも何故こんなに黒いものを欲しがってやってきたんだろうと思っています。

○タイヤといえば天然ゴム(NR)、合成ゴム(SBR・BR・ブチル)などがあり、また材料といえばゴムばかりではなく、カーボン、硫黄、スチールワイヤ、ナイロン、テトロン、ケブラー、ピアノ線などの複合体を使っているタイヤを作っていました。

○本来私はここでは“ゴム弾性”についてお話ししたかったのですが、とても3分間では話さきれません。ただタイヤの中にはどういう種類があるかなかなか知っていないと思います。

最初にOTR：大きなタイヤで重機に使われ1本100万円以上します。このタイヤを8~12本着けてやるので大変な値段になります。次にTBS：スチールタイヤのラジアル化したものです。PCR：普通に皆さんが乗っている乗用車のタイヤになります。それから工業用タイヤのID、農耕用タイヤのFT、飛行機に使っているタイヤ、レーシングタイヤ等があり、こういうものを作っているのがタイヤ会社であります。本来なら先程話しましたゴムというものは、固体・液体、引っ張れば伸び、そして熱くなる、縮めれば縮み冷たくなる、こういう特性を活かしたものをタイヤに使っているわけです。また時間があればゴムの弾性体についてお話ししたいと思います。

【諸星利男さん】



○現在秦野で介護系の施設を運営をしており、このグループにも入れさせて頂いております。

本来私は渋谷の出身でして、実は古谷さんとは同級生であります。大学が定年になりこちらに来ることが多くなり誘って頂き、半分は懐かしい思いで、またあまりにも浦島太郎のように秦野のことを忘れ去っておりましたので入会させて頂き、かれこれ8年になります。取敢えず何でも10年はいようと思っていたので、あと少なくとも2年は

おらさせて頂くつもりです。8年はあつという間でした。65歳は元気でしたが70歳を過ぎると大変疲れ、東名を走っていると大和市辺りで横断幕に“75歳を老人と呼ばない”と書いてありますが、75歳は疲れるなど思いながら毎日来ております。

- 私は秦野の渋沢で生まれ、代々お百姓をやっていました。私の家は“忠左衛門さん”と呼ばれていました。こちらに来るようになってからいろいろ調べたところ“忠左衛門”と名乗ってる人は3代おりました。
最初に名乗っていた人は宝永年間、富士山が噴火した年で砂降りといって畑に全部40~50cm積もってしまい大変な状況で年貢が納められないということで、近隣60村の名主が名前を書いて直接幕府に嘆願書を出したという歴史があります。
- それから100年位経って文化文政の頃2代目の“忠左衛門”がおありまして、我が家の古文書によると、領主の殿様から突然50両を出すように(借用)言われ、工面して50両出したらしいのですが、いつか戻ってくると思っていましたが、結局は何らかのご褒美を頂いただけだったらしいです。此の頃の50両は大金ですから、しかも渋沢は田んぼがなく畑だけなのでいくら庄屋と言えどもどうやってお金を工面したのかとずーっと思っていました。そうしたところ、どうやら“生け花”のお師匠さんをやっていたらしいのです。近隣の郡や村の人でお弟子さんが80人位いたようです。今でもありますが“宏道流”という流派で名簿がありまして、どうやらこれでお金があったようです。
- 3代目の“忠左衛門”は明治の入れ替わりの頃で、この方は一番れっきとした庄屋をやっていたようです。近隣5村の村長のようなことをしており、新政府から月給17円を頂いたと記録があります。
- 2代目以降の“忠左衛門”さんは、お花もやっていたようですが、実際一番興味があつたのは俳諧(俳句)で、全国区の投稿誌に何度か載つたようです。特に3代目の“忠左衛門”さんは、大磯の“鳴立庵”14代の庵主に良くして頂いたようです。
- “忠左衛門”さんの後のご先祖で“のぶさん”という方がおられ、この方は真面目にお百姓をやっていた方で、お花や俳句に憧れていたようですが、なかなかご時世うまくいかなかったようです。
- 父が亡くなる前に家に伊藤博文の書があつたので聞いたところ、大磯の“鳴立庵”14代の庵主さんが取り仕切っていた頃は、伊藤博文や山縣有朋などが集まった時にお呼びがかり、恐らく卵・野菜が採れたということで納めそんな流れの中で頂いたと思います。徳をもって長生きすることは良いことだという内容の書です。今の職業に合うので何処かに飾ろうと考えています。
- こう考えると「うちの先祖は結構やるな」と「勝手気ままに生きてきたんだな」と思いました。代々お百姓だったのですが、私自身も全部田畑を売ってあのような介護施設を建ててしまつて、まだまだ借金を抱えどーするのかと思つていますが、先代方がいろいろな状況下でやって来れたので少し救われた思いで後2年間頑張ろうと思つています。
- 私が一番自慢したいのは、私の仕事は“病理学”で人が亡くなった時にその方の病気がどうだったのかを調べること。勿論元気なうちも診ますが、病院で亡くなった方がどうして亡くなられたのか、治療が本当に効いたのか、診断が正しかったのかということ調べます。これは大凡17世紀・18世紀の産業革命の頃から19世紀までは最先の医学と言われてきました。
その中でも私は“膵癌”のスペシャリストなんです。私が見つけた“諸星ツモア”とある分野で言われていますが、膵臓癌というのは非常に悪性度が高く診断がつくと余命半年位でお亡くなりになるのが一般的でしたが、私たちが研究したグループでは膵癌の中にも良性のものがある。若い女性(17歳)で卵の大きさの膵癌が見つかり、通常だと余命2~3か月と診断されるのですが、どうも良性のようであるという疾患のカテゴリーがあるという事を1981年にドイツで発表しました。

そこで膀胱のことであったら是非診させて頂ければと思います。因みに膀胱癌は死亡原因の第4位になります。

長くなってしまいました。ありがとうございました。

【鈴木和夫さん】



- 今、諸星さんのお話しでああいう話しは卓話で是非聞いてみたいと思いました。是非機会がありましたら実現して頂き、長い交流をしていけたらと思います。
- 自己紹介ということで今日はお話しさせていただきます。私は生まれは足柄下郡真鶴町岩というところです。秦野からみますと、海が近くて美味しい魚が食べられていいなあと良く言われます。
8月27日に数えて70歳に、満で69歳古稀を無事に迎えられました。
- 私は中学2年の時に父を亡くしており、母の手一つで育てられたのですがとにかく最低でも高校だけは行かなければダメだと言われ、5人兄弟姉妹で非常に苦労したと覚えています。そこで中学3年の卒業と同時に親に負担を掛けたくないので“丁場”といって石切りの現場でアルバイトをやりました。本来なら大学までと思っていたのですが、やはり勉強が嫌いで高校卒業して社会人になった次第です。
- その高校の時に一大事件が起きまして、高校2年の時にオートバイに乗りたくて一生懸命アルバイトをし、目黒というメーカーの500ccのオートバイを買って乗り回しておりましたが、その最中にキックしてスタートしてその後気付いたら病院のベッドの上でした。その間の記憶が一切なく、家族は意識不明の重体ですと告げられていたそうです。そんなことがあってからオートバイは乗っておりませんが、自分自身が若い頃安全運転をしなければいけないと思っていたのですが、やはり若気の至りで血が騒ぐんですね、今では見本のような安全運転をしております。皆さんも運転されると思いますので、是非充分注意して頂きたいと思います。
- 私のロータリー入会は平成19-20年度で大屋さんが会長の時でした。2年ほど出席させて頂きましたが商売の方がなかなか厳しくて皆様にはお願いして一度退会させて頂き、その代わり必ず戻りますということで3年間お休みさせて頂きました。平成25年度の時に再入会の許可を頂き現在に至っています。
そんな中、私自身は何の取りえもありませんが現会長エレクトとして大役を仰せつかっているわけですが、私自身秦野市のことをほとんど知らないのに秦野出身の皆様いろいろなことを教えて頂きながら今年～来年、それ以降も含め名水ロータリーの為に一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

12. 点 鐘